

本 会 会 報

学会だより

◇平成 29 年度第 2 回（臨時）運営委員会要旨

日時：2017 年 7 月 22 日（土）14:00～17:30

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟 1 階 第 1 会議室

出席：堤，奥本，大澤，伊藤，最相，宍戸，山本，佐藤，築山，有村，吉田，犬飼，草場，石川，北柴，富田
【出席：16 名】

欠席：甲斐，齊藤，石本【欠席：3 名】

冒頭会長より，本委員会は会計対策に特化した委員会である事が説明された。

1. 審議事項

- ①育種学会の財務状況の現状（会計）
 - 現状，実施済み対策について
- ②庶務関連（庶務，会計）
 - 会員名簿の簡略化について
 - 賛助会員，バナー広告，シニア会費制度について
- ③集会関連（集会，会計）
 - 大会事業収益の事業費化について
- ④和文誌関連（和文誌，会計）
 - 育種学研究の発行体制の変更について
- ⑤英文誌関連（英文誌，会計）
 - 英文誌発行経費の健全化方策について
- ⑥その他
 - その他の対策について

◇ 地域談話会だより

〈東北地区〉

第 12 回東北育種研究集会のお知らせ

日本育種学会 東北地区会員の皆様

第 12 回東北育種研究集会世話人代表

秋田県立大学生物資源科学部 赤木宏守

第 12 回東北育種研究集会を下記の要領で開催致します。

本会は東北 6 県の持ち回りで開催されています。今年度は秋田県において 3 度目の開催となり，秋田駅近くのカレッジプラザで行うことになりました。

今年度の集会では，2 名の講演とポスター発表を企画しました。エントリー制による優秀ポスター賞の選定も行います。本会が東北育種関係者にとって有意義な研究交流の場となりますよう，皆様ふるってご参加下さい。

1. 日時：平成 29 年 11 月 25 日（土）13:30～17:00

2. 会場：カレッジプラザ 大講義室

〒010-0001 秋田市中通 2 丁目 1-51 明徳館ビル 2 階

交通アクセス <http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10859>

3. プログラム

13:00 受付開始（大講義室）

13:25 開会挨拶（秋田県立大学生物資源科学部 赤木宏守）

13:30 講演 1

藤田直子 氏（秋田県立大学生物資源科学部）
「ダイエット米の育種に向けて（仮）」

14:20 ポスター発表

16:00 講演 2

椿信一 氏（秋田県農業試験場 野菜・花き部）
「秋田県におけるスイカの育種（仮）」

16:50 優秀ポスター賞表彰式

17:00 閉会

17:30 情報交換会

4. 参加申し込み

参加の希望者は，11 月 10 日（金）17:00 までに，以下の申し込み記入例にならって必要事項をメール（h-takahashi@akita-pu.ac.jp）で送信して下さい。メールのタイトルは“東北育種研究集会申し込み”として下さい。

申し込み記入例

氏名（ふりがな）：秋田 コマチ（あきた こまち）

所属：秋田県立大学

職名・学年：修士 2 年 e-mail : komachi@akita-pu.ac.jp

ポスター発表の有無：有

優秀ポスター賞へのエントリーの有無：有

情報交換会への参加：参加

5. 優秀ポスター賞について

若手研究者の研究を奨励する目的で，優れた研究発表に対して優秀ポスター賞として表彰します。本会では，賞の主旨をより反映した形で選考を実施するため，エントリー制とします。学部学生，大学院生，ポスドクおよび公設試験機関研究員など若手研究者は積極的にエントリーして下さい。なお，大学教員の優秀ポスター賞へのエントリーはご遠慮下さい。

6. ポスター発表要旨の作成について

ポスター発表の希望者は，11 月 17 日（金）17:00 までに，育種学研究の別冊（講演要旨集）を参考にして発表要旨（A4 縦サイズ 1 ページ）を Word 形式（.doc または .docx）で作成し，ファイルをメールに添付して送信して下さい。メールのタイトルは“東北育種研究集会申し込み”として下さい。

発表要旨には演題名，著者名および所属を書いて下さい。日本語の本文の場合は，演題名等の英文表記は不要です。なお，優秀ポスター賞へエントリーした場合，発表者印は○ではなく，☆として下さい。

印刷製本の都合上、必要に応じて構成する場合がありますので、予めご承知おき下さい。

7. ポスターの作成要領について

ポスターは横 90 cm×縦 150 cm に収まる大ききで作成して下さい。

第 132 回日本育種学会講演会のポスター作成要領に従って作成して下さい。なお、優秀ポスター賞へエントリーした場合、発表者印は○ではなく、☆として下さい。

8. 問い合わせ先

第 12 回東北育種研究集会事務局（秋田県立大学生物資源科学部 植物遺伝・育種グループ）

高橋秀和 (h-takahashi@akita-pu.ac.jp)

＜中部地区＞

第 25 回日本育種学会中部地区談話会が開催されます。

日時：平成 29 年 12 月 2 日（土）午前 10 時 30 分から

会場：静岡大学静岡キャンパス（〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836）農学総合棟

大会運営委員長：富田因則（静岡大学グリーン科学技術研究所）

特別講演、ポスター発表、優秀ポスター賞の選定、静岡大学グリーン科学技術研究所の見学等を企画しています。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

一方、北陸作物・育種学会第 54 回講演会・シンポジウムは下記のように開催されました。5 人の演者による水稲育種戦略に関する公開シンポジウムのほか、33 題の一般講演が披露され、参加者は 75 名に及び、盛況に行われました。

日時：平成 29 年 7 月 14 日（金）～ 15 日（土）

会場：ミュゼ雪小町（〒943-0832 上越市本町 5 丁目 4 番 5 号 あすとびあ高田 5 階）

シンポジウム委員長：佐々木良治（農研機構中央農業研究センター北陸研究拠点）

1. 総会 7 月 14 日（金）13:00～13:30
2. 平成 28 年度北陸作物・育種学会賞授賞式・講演 7 月 14 日（金）13:45～14:15
「畑作物の収量・品質の向上及び作業省力体系に関する研究」（奨励賞）藤田与一（新潟県農業総合研究所作物研究センター）

3. 公開シンポジウム 7 月 14 日（金）14:30～17:20
テーマ「水稲育種戦略—地域ブランドとこれからの課題—」

演題及び講演者

- (1) 風さやかなの育成と今後の育種方向について。高松光生（長野県農業試験場育種部）
- (2) 水稲新品種「ひゃくまん穀（石川 65 号）」の育成と栽培特性。中村啓二（石川県農林総合研究センター農業試験場育種グループ）

(3) 新潟県における水稲品種開発と晩生新品種「新之助」の育成。重山博信（新潟県農業総合研究所作物研究センター育種科）

(4) 「元気な富山米ブランド」の確立に向けて。小島洋一朗（富山県農林水産総合技術センター農業研究所育種課）

(5) 福井の新しいブランド米「いちほまれ」の開発。富田桂（福井県農業試験場ポストコシヒカリ開発部）

(6) 総合討論 司会：前田英郎（農研機構中央農業研究センター北陸研究拠点）、パネラー：演者

4. 懇親会 7 月 14 日（金）18:00～20:00 会場：カフェ&レストランアレーグロ（アートホテル上越 1 階）

5. 一般講演 7 月 15 日（土）9:15～12:15

(1) 空気搬送式直播機（改良）を用いた水稲湛水直播における無粉衣種子の苗立ちの特徴。青木政晴*1・上原泰1・森本勉1・関正裕2・加藤仁2（1. 長野県農業試験場、2. 中央農研北陸拠点）

(2) ブルドーザ（D21）による水稲 V 溝直播技術（第 2 報）。中村徳孝*・吉田翔伍・中田敏郎（石川県農林総合研究センター）

(3) 作業体系および播種方法の違いが乾田直播水稲の生育・収量に及ぼす影響。吉田翔伍*・中村徳孝・宇野史生（石川県農林総合研究センター）

(4) 水稲不耕起乾田 V 溝直播栽培における有機質肥料の施肥位置の検討。宇野史生・中村弘和・中田敏郎*（石川県農林総合研究センター）

(5) 水稲品種「石川 65 号」の食味に影響を及ぼす要因。宇野史生*・島田雅博・吉田翔伍・中村弘和（石川県農林総合研究センター）

(6) 短穂性の発酵粗飼料用イネ品種「たちあやか」の総初数におよぼす栽植密度の影響。松下景*1・長岡一朗1・笹原英樹1・前田英郎1・渡邊肇2（1. 農研機構中央農業研究センター作物開発研究領域、2. 新潟大学大学院自然科学研究科（現・秋田県立大学生物資源科学部））

(7) 密播苗育苗における播種後苗箱の貯蔵技術。齋藤祐幸*1・星野晴香2（1.（株）クボタ（元新潟農総研）、2.（株）新潟クボタ）

(8) 異なる出芽・育苗方法が密苗の出芽までの日数と苗質に及ぼす影響。中村弘和*・宇野史生・島田雅博・吉田翔伍（石川県農林総合研究センター）

(9) 一発処理除草剤が密苗初期生育に及ぼす影響。宇野史生1・今本裕士*1・澤本和徳2（1. 石川県農林総合研究センター、2. ヤンマー（株））

(10) 新規スルホニルウレア成分含有除草剤の散布時期と水稲の薬害および除草効果。板谷恭兵*1・野村幹雄1・長岡令1・守田和弘1・吉田稔2（1. 富山県農林水産総合技術センター、2. 富山県農業技術課）

(11) 高密度播種苗による「コシヒカリ」栽培における生育、収量および品質。長岡令・野村幹雄*・板谷恭兵（富山県農林水産総合技術センター）

(12) ソーラーシェアリングを想定した水稲に対する直達光遮栽培の影響について. 南雲芳文*1・樋口泰浩1・藤田与一1・川上修1・山田昇2 (1. 新潟農総研作物研究センター, 2. 長岡技術科学大学)

(13) 大豆, 夏野菜, 果樹園における雑草抑制用リビングマルチ小麦新品種「LM12」の育成. 村井耕二 (福井県立大学生物資源部)

(14) 新潟県におけるコムギの製パン適性を高める穂揃期追肥. 藤田与一*1・諸橋敬子2・川上修1・樋口泰浩1・南雲芳文1 (1. 新潟農総研作物研究センター, 2. 新潟農総研食品研究センター)

(15) 新潟県における越冬後追肥がパン用小麦品種ゆきちからの生育に及ぼす影響. 渋川洋*・島崎由美・関正裕・関昌子 (農研機構中央農業研究センター)

(16) 炭素線照射によるオオムギ (*Hordeum vulgare*) の突然変異の誘発 1. 種子貯蔵タンパク質の変異. 中野絢菜*1・中山裕貴1・相井城太郎1・田中宥司1・高城啓一2・長嶺敬3・池田達哉4 (1. 新潟薬科大学, 2. 若狭湾エネルギー研究センター, 3. 農研機構中央農業研究センター, 4. 農研機構西日本農業研究センター)

(17) オオムギの耐雪性に関わるフルクタン合成酵素1-FFT 遺伝子の多型解析. 中田克*・関昌子・青木秀之・長嶺敬 (農研機構中央農業研究センター)

(18) スカイゴールドン/イチバンボシ組換え自殖系統を用いた硝子率に関する QTL 領域の検出. 青木秀之*1・中田克1・関昌子1・大山亮2・関和孝博2・加藤常夫2・長嶺敬1 (1. 農研機構中央農業研究センター, 2. 栃木県農業試験場)

(19) 実肥施用時期がオオムギの収量, 品質に及ぼす影響. 島崎由美*・関昌子 (農研機構中央農業研究センター北陸研究拠点)

(20) 寒冷地向けもち性オオムギ新品種「はねうまもち」の特性. 関昌子*1・長嶺敬1・青木秀之1・伊藤誠治1・山口修2・中田克1・島崎由美1 (1. 農研機構中央農業研究センター北陸研究拠点, 2. 福岡県農林総合試験場)

(21) 中央農業研究センター大麦育種の展望と課題. 長嶺敬*・関昌子・中田克・青木秀之 (農研機構中央農業研究センター)

(22) 酒造好適米新品種「信交酒 545 号 (山恵錦)」の育成. 細井淳*1・高松光生1・久保田基成2・牛山智彦3・新井利直4・酒井長雄1・吉田清志5・矢ヶ崎和弘6 (1. 長野農試, 2. 元長野農大, 3. 長野原種セ, 4. 関東甲信クボタ, 5. JA 全農長野, 6. 長野野花試)

(23) ハバタキ/Arroz da Terra 交配系統を用いた水稲種子の温湯処理時の高温耐性に関する QTL 解析. 福田あかり*・寺尾富夫 (農研機構中央農業研究センター)

(24) 水稲の苗質に関する GWAS と育種利用. 山口琢也*1・江花薫子2・山崎将紀3 (1. 富山県農林水産総合技術センター, 2. 農研機構, 3. 神戸大)

(25) スイートコーンの作付けがキャベツ連作障害回避

に及ぼす影響. 西幸大斗*1・野々村豪二1・中野顕洋1・井口利江菜1・志津野匡人1・松永慎太郎1・岡部繭子1 (1. 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター)

(26) ベニバナインゲンの受粉における昆虫の関与・誘引が収量に及ぼす影響. 野々村豪二*・西幸大斗・中野顕洋・井口利江菜・志津野匡人・松永慎太郎・岡部繭子 (信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター)

(27) ベニバナインゲンの播種時期および播種方法が生育・収量におよぼす影響. 岡部繭子*・中野顕洋・野々村豪二・西幸大斗・井口利江菜・志津野匡人・松永慎太郎 (信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター)

(28) 長波交流電磁波による畑地土壌の CEC とミネラル組成の推定. 織井孝治*1・井上直人1・三澤綱樹2・小松隆史2・桃崎英司1・丸山貴史2 (1. 信州大学農学部, 2. (株)小松精機工作所)

(29) 夏ソバ「なつみ」では追肥より基肥重点施肥が重要. 伊藤誠治 (農研機構中央農業研究センター北陸研究拠点)

(30) 北陸地域向け大豆系統における難裂莢性の影響. 河野雄飛 (農研機構中央農業研究センター北陸研究拠点)

(31) 紫外励起蛍光による普通ソバ種子の非破壊品質評価. Boldbaatar ORGIL*・井上直人・織井孝治・関沼幹夫 (信州大学農学部)

(32) 食用ブナシメジ子実体基部の施肥効果—トウモロコシとソバを用いた評価—. 松平尚己*・湊谷陽太・織井孝治・井上直人 (信州大学総合理工学研究科農学専攻)

(33) さばえ時無しそばの品質向上. 石川武之甫 (元福井県農業試験場)

日本育種学会会員異動(2017.4.21 ~ 2017.7.20)

◇普通会員入会: 米山彰造 (北海道), 石森裕貴, 貝守昇 (宮城), 秋田和則, 高橋章, 津坂宜宏, 松倉千昭 (茨城), 橋田慎之介 (千葉), 小松憲治 (東京), 井藤純, 瀬尾光範 (神奈川), 西村卓真 (滋賀), 阿部大吾 (香川), 永松志朗 (福岡)

◇学生会員: 安達康平, 金刺佑平, Natasia, 針谷康平, 増田到 (北海道), 菅原魁人, Taddesse Lakew (青森), 阿部千遥, 上野美和, 高橋美紗子 (岩手), 阿部瑞希, 小方郁也, 志賀敏秀, 進藤雅志, 長谷山祐里恵 (宮城), 栗野莉奈, 高橋弘紀 (山形), 劉徳泉 (茨城), 張晰然 (栃木), 小野寺瞳, 金川真実, 佐々木剛志, 野村知宏, 濱崎甲資, 平岩飛鳥, 三輪幸哉 (東京), 尾関未帆, 佐藤萌子, 三橋優衣, 渡辺るみ果 (神奈川), 佐藤篤史, 関田凌也 (新潟), チュラーサティットサコン (富山), 宮田伊吹 (長野), 清水春衣, 安江広樹 (愛知), Haine Hlaing Moe (三重), 工藤真帆 (滋賀), 小幡正彬,

Nguyen Thi Lieu (大阪), 淡裕美子 (兵庫), 小森山翔太 (宮崎)

◇**外国会員入会** : Xiong Wu (中華人民共和国)

住所変更等

◇**普通会員** : 伊藤秀臣, 小出陽平, 丹野久 (北海道), 野々上慈徳 (岩手), 石井卓朗, 竹島亮馬, 塔野岡卓司, 西口正通, 矢野昌裕 (茨城), 高橋宙之, 田村健一, 山内卓樹 (東京), 大坪憲弘 (京都), 境哲文 (福岡), 高畑康浩 (熊本)